

お客様各位

2022年12月21日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、2022年12月21日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第22561号 ホクコーDr. オリゼフェルテラ粒剤

適用変更の内容

- ・ 作物名「稲（箱育苗）」の使用量に「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）」を追加する。

【変更後の適用内容（変更する作物のみ）】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クアントリアプロールを含む農薬の総使用回数	プロパナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	コブノカガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 イネハモグリハエ		移植3日前 ～ 移植当日				
	いもち病 ツマグロヨコバイ フタヒコヤカ イネノオムシ イネズシウムシ ニカメイト イネツムシ		緑化期 ～ 移植当日				
	コブノカガ	移植当日					
	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 イネハモグリハエ ツマグロヨコバイ フタヒコヤカ イネノオムシ イネズシウムシ ニカメイト イネツムシ	高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)	移植3日前 ～ 移植当日				

次ページへ続く

前ページから続く

【変更後の使用上の注意事項（追加事項）】

- ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1 箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照下さい。

以上